

教科・「科目」	数学・「数学Ⅰ」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		4	座学	1	全学科必修修科目

### 1. 目標と評価規準

目標	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。		学習状況 発表等
数学的な見方や考え方 (10%程度)	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		確認テスト等
数学的な技能 (30%程度)	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。		ノート 課題 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。		定期考査等
使用教材等	教科書：改訂版 最新 数学Ⅰ（数研出版） 副教材：パラレルノート 数学Ⅰ+A、電子黒板、学習用パソコン		

### 2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	第1章 数と式 第1節 数と式	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	学習用パソコン、電子黒板
	5			
	6	第2節 1次不等式		
	7			
2 学期	9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	学習用パソコン、電子黒板、グラフィックソフト
	10	第2節 2次方程式と2次不等式		
	11			
	12	第4章 図形と計量 第1節 三角比		
3 学期	1	第2節 正弦定理・余弦定理		
	2			
	3	第5章 データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	学習用パソコン、電子黒板

備考	
----	--